大塚の話題

◆大塚バラ祭りが5月に開催。
新名所となった都電沿線のバラ、
今年も沢山の人で賑わいました。
次の見頃は秋です。
毎月第3日曜日が作業日、
ボランティアは随時募集中です。

バラ祭りのチラシを配布しました

◆「東京大塚阿波おどり」の準備が着々と進んでいます。
大塚最大のイベントは8月22日（土）に開催です。

お知らせ

区政報告会を実施します

私の政策の根幹としている教育政策を中心に、ご報告をさせて頂きます。

日時：9月19日（土）10時～11時半（入場無料）

場所：南大塚ホール（豊島区南大塚2-36-1）

<区政報告>細川正博（豊島区議会議員）
<特別講演>田口佳史（老荘思想研究者、日本家庭教育協会理事長）
「なぜ今、人格教養教育が必要なのか」（仮）
<実践報告>細川正博（豊島区議会議員）「放課後寺子屋」の実践

豊島区議会議員　細川正博
〒170-0005 豊島区南大塚1-51-17
TEL/FAX 3945-2530　Mail info@hosokawamasahiro.jp

政策等の詳細、日々の活動はHP/Blog/Facebookにて発信

〔略歴〕昭和53年南大塚出身。3児の父。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部を経て公益法人に勤務。平成23年初当選、2期目。豊島消防団員、大塚三業通り商店街相談役、区空手道連盟顧問、軟式野球連盟豊島リーグ副会長

活動レポートVol.017　平成27年夏号

自民党豊島区議団　巣鴨小OB。豊島に恩返し。
子供たちの世代へ責任ある政治を!!

細川正博

活動レポートVol.017

区議選にて再選
2期目の決意を新たに
自民党は候補者全員当選

平成27年4月の豊島区議会議員選挙は36名の定数に対し55名が立候補の激戦。4年間の実績と、教育、地域活性化、防災などの政策を中心に訴えました。

4年間の取り組みと今後の政策について訴えました

2期目の議席をお預かりし、一層身を引き締めて活動をいたします。

議会への信頼を取り戻すために、働く議員を増やしその実績を見えるようにしたいです。新人議員も巻き込みながら引き続き取り組みます。

◇本号のトピックス◇

◆区議選を終えて、2期目の決意
◆第2回定例会
・区立図書館への指定管理者導入 他
◆特定都市再生緊急整備地域指定
◆龍馬プロジェクト総会を実施
◆大塚の話題
・大塚バラ祭り開催
・大塚阿波おどり準備
◆9/19区政報告会を行います

第2回定例会が終了

条例14件、補正予算など可決

27年第2回定例会が6月19日から7月3日の会期で行われ、区民厚生委員会では、議案3件、陳情1件、報告事項11件を審査。

陳情は、国保の広域化撤回と区独自の減額制度を求める内容。加入者の年齢構成など構造的な問題を抱える国保の財政運営は厳しく、制度を持続するために都道府県が財政運営の責任主体になります。区独自の減額制度は一般会計からの更なる繰入を意味しており、公平性などの観点で困難。国保を持続可能にするため、自民党は不採択と判断。結論も不採択。

区立図書館への指定管理者の導入が決定

一般質問で取り上げた内容が実現。法で入館料等の対価の徴収は不可ですが、業務効率化によるコスト縮減の事例があり、サービス拡充の提案も考えられます。なお条例改正後も選書は直営館が担います。指定管理者の創意工夫で地域図書館がより活性化することを期待します。

◇主な報告事項◇

◆「切れ目のない子育て支援の促進」を図る「ゆりかご・としま」事業の実施

◆「認知症対策の充実」の具体策として、豊島区認知症戦略による認知症ケアパス発行など

◆「としま健康チャレンジ！」事業の拡大

→区民ひろば事業との連携などを、働きかけていきます

活動レポートVol.017　平成27年夏号

特定都市再生緊急整備地域に指定

池袋や造幣局周辺などを後押し

6月11日の豊島副都心開発調査特別委員会にて、都が国へ申し入れていた池袋駅周辺地区の特定都市再生緊急整備地域へ指定が確実になったことが報告されました。規制緩和や税制優遇措置などが受けられるようになるため、官民連携による池袋の再生を後押しする効果が期待されます。

その他同委員会で、木密地域不燃化10年プロジェクト、造幣局地区まちづくりなどの進捗状況の報告。

造幣局地区は防災公園地区、市街地地区（文化交流機能ゾーン（研究施設等の誘致など）、賑わい機能ゾーン）となります。造幣局東京支局の移転は28年度半ば、防災公園工事完了は31年度中の予定。

龍馬プロジェクト

鈴木三重県知事、長野別府市長を含む50名以上が全国より集う

龍馬プロジェクト全国会の第6回総会を6月に都内で実施。本気で活動する保守系の若手地方政治家のネットワークを創る活動をしており、既に同志から鈴木英敬三重県知事を含む首長10名が誕生。私は5年前の発足時から関わり、一昨年度からは総務局長、今年度は総務局次長を預かっています。

統一地方選を終えた今年度は原点回帰をして同志を増やす活動を行います。